

2019（令和元）年度事業報告
 （2019年4月1日から2020年3月31日まで）

1. 会長ならびに庶務担当理事報告

(1) 総会

2019年度通常代議員総会を2019年6月7日、とりぎん文化会館（鳥取市）において開催し、次の議案を可決した。

- 第1号議案 2018（平成30）年度収支決算書の件
- 第2号議案 2019・2020（令和元・2）年度理事選任の件
- 第3号議案 2019・2020（令和元・2）年度監事選任の件

(2) 理事会、委員会等の開催（括弧内はメール審議）

2019年度（2019年4月1日から2020年3月31日）は、以下の通り開催した。

理事会	5月12日	6月7日	11月28日	2月11日
幹事会	6月6日			
業務担当理事会	4月23日	6月25日	8月1日	11月15日
	1月28日			
編集委員会	6月25日	10月3日	1月8日	
	(8月1日・9日		10月9日	11月6日
	12月5日・6日・25日・26日)			
トピックス等担当委員会	6月8日	(1月21日)		
国際交流委員会	(10月24日	12月19日	1月29日)	
学術広報委員会	6月8日	(4月9日	7月1日	10月30日)
学会賞選考委員会	2月11日			
タスクフォース委員会	6月8日			
将来構想検討委員会	6月7日			
選挙管理委員会	6月23日	9月6日	10月11日	

(3) 会員等の状況

1) 会員の異動状況

	2019.4.1	入会	退会	2020.3.31	年度末退会
正会員(名)	656	22	10	668	33
学生会員(名)	31	45	9	67	40
団体会員(件)	107	2		109	3
賛助会員(件)	31(47)			31(47)	

2) 役員等(2020.3.31 現在)

名誉会員	13名
理事	14名
監事	3名
幹事	26名
功労会員	67名
代議員	102名
賛助会員幹事	17名

3) 委員会等（2018.3.31 現在）

学術・広報委員	6名
国際交流委員	11名
編集委員	11名
JNSV 編集委員	11名

トピックス等担当委員	34名
学会賞選考委員	19名
選挙管理委員	5名
タスクフォース委員会	18名
将来構想検討委員会	10名

(4) 研究業績の表彰、奨励

1) 学会賞受賞者

- 乾 博 (大阪府立大学地域保健学域栄養療法学専攻 教授)
「ユーグレナのワックスエステル発酵の発見と新規チアミン酵素に関する研究」
- 榊 利之 (富山県立大学工学部医薬品工学科 教授)
「ビタミン D 代謝酵素の構造と機能に関する研究」

2) 奨励賞受賞者

- 川上 竜巳 (徳島大学大学院社会産業理工学研究部 准教授)
「超好熱アーキアの FAD 依存性脱水素酵素複合体及び PLP 依存性アミノ酸ラセマーゼの研究」
- 市 育代 (お茶の水女子大学基幹研究院 講師)
「必須脂肪酸欠乏の生体制御機構に関する研究」

3) 企画・技術・活動賞受賞者

- エーザイ株式会社 (内藤 晴夫, 金澤 昭兵, 泉澤 勝弘, 木全 基樹)
「ビタミン B₂ を核とする一般用医薬品の創製」

4) 功績者表彰受賞者

- 磯橋 文秀 (大阪医療技術学園専門学校学校長・聖マリアンナ医科大学客員教授)
- 佐伯 武頼 (鹿児島大学名誉教授)
- 佐藤 一精 (広島大学名誉教授)
- 山本 格 (岡山大学名誉教授・(株)アスコルバイオ研究所代表取締役)

5) トピックス貢献賞

- 山地 亮一 (大阪府立大学大学院生命環境科学研究科 教授)

6) 若手海外優秀発表賞

- 高村 祐太 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科薬科学専攻)
「F-containing retinoid X receptor (RXR) partial agonist F-CBt-PMN whose tissue transferability is affected by coadministration of another RXR ligand」
- 栗原 晶子 (大阪府立大学総合リハビリテーション学類栄養療法学専攻)
「Development of VDDQ-J (Vitamin D Deficiency Questionnaire for Japanese): A Novel Screening Tool for Vitamin D Deficiency for Japanese」
- 増田 真志 (徳島大学大学院医歯薬学研究部臨床食管理学分野)
「All-*trans* retinoic acid reduces the transcriptional regulation of intestinal sodium-dependent phosphate co-transporter gene (*Npt2b*)」
- 青 未空 (京都女子大学大学院家政学研究科生活環境学専攻)
「High prevalence of vitamin B₁₂ deficiency before and early after gastrectomy in patients with gastric cancer」
- 菊樂 香奈 (島根大学大学院自然科学研究科農生命科学専攻)
「Distinct impacts of cytosolic and chloroplastic ascorbate peroxidases on cell death in catalase-deficient plants.」

2. 学術・広報担当理事報告

(1) 年次大会、講演会等の開催

日本ビタミン学会第71回大会は、2019年6月7日から8日までの2日間、渡邊文雄大会委員長によって、とりぎん文化会館（鳥取市）にて「ビタミン学再考」を大会テーマとして開催された。大会参加者数は、約320名であり、学会賞等の受賞講演、一般演題100演題発表（うち学生発表51演題）、シンポジウム等が行われた。

《シンポジウムⅠ》

『バイオファクターについて考える～生合成・代謝と機能性発現機構を再考する～』

「還元型コエンザイムQ₁₀による臨床効果」

藤井 健志（株式会社カネカ）

「食事によるコリン化合物摂取とその機能性について」

大久保 剛（仙台白百合女子大学 人間学部）

「エイコサノイドの生合成系とその役割」

山本 登志子（岡山県立大学 保健福祉学部）

「ファイトケミカルの生体利用性と機能性発現調節」

室田 佳恵子（島根大学 生物資源科学部）

《シンポジウムⅡ》

『わが国におけるビタミン摂取の現状と課題』

「ビタミンD・K摂取の現状と課題」

津川 尚子（大阪樟蔭女子大学 健康栄養学部）

「骨粗鬆症治療におけるビタミンDの役割」

萩野 浩（鳥取大学 医学部）

「抗酸化ビタミン（C・E）と認知症・アルツハイマー病」

篠原 もえ子、山田 正仁（金沢大学大学院 医薬保健学総合研究科）

「水溶性ビタミン摂取の現状と課題ービタミンB₁₂・B₁を中心にー」

田中 清（神戸学院大学 栄養学部）

「葉酸代謝関連遺伝子多型と片頭痛」

古和 久典（松江医療センター 神経内科）

(2) 市民公開講座

2019年度市民公開講座は、2019年11月9日(土)に、駒井三千夫実行委員長によって、仙台市中小企業活性化センターにて「ビタミンの力でスマートエイジング」をテーマとし、一般市民約200名参加のもと開催された。

「ビオチンによる糖尿病・肥満症・高血圧症の予防」

曾根 英行（新潟県立大学）

「ビタミンKによる健康寿命の延伸」

白川 仁（東北大学）

「日本人の遺伝子多型に基づく健康寿命」

香川 靖雄（女子栄養大学）

(3) 共催・協賛・後援

1) 第66回日本栄養改善学会学術総会（合同シンポジウム）

日時：2019年9月7日

会場：富山国際会議場

テーマ：ビタミン不足・欠乏の再考

「脂溶性ビタミン栄養状態と健康 ―欠乏から不足の時代へ―

栗原 晶子（大阪府立大学 総合リハビリテーション学類 准教授）

「水溶性ビタミン不足の臨床的・社会的意義」

田中 清（神戸学院大学 栄養学部 教授）

「葉酸不足は母子健康だけの問題ではない」

平岡 真実（淑徳大学 看護栄養学部 准教授）

「ビタミンCの長期的な不足は寿命を短縮する」

石神 昭人（東京都健康長寿医療センター研究所分子老化制御研究部長）

2) 第4回D-アミノ酸国際学会（協賛）

日時：2019年9月10日～13日

会場：東京ミッドタウン内 富士フィルムシンポジウムホール

3) 第17回高付加価値食品開発のためのフォーラム（協賛）

日時：2019年9月27日～28日

会場：帝人アカデミー富士

4) 第8回「栄養とエイジング」国際会議（後援）

日時：2019年10月1日～2日

会場：国連大学 ウ・タント国際会議場

5) 「German-Japan International Health and Sunlight Conference」（後援）

日時：2019年10月4日

会場：新宿パークタワーホール

6) 公益社団法人ビタミン・バイオフィクター協会市民公開講演会（協賛）

日時：2019年11月30日（土）13時30分～16時30分

会場：東京工業大学キャンパス・イノベーションセンター（国際会議室）

テーマ：ビタミンは足りていますか？―ビタミン不足が確認できる最新技術―

「ビタミンは壊れやすい

―尿中へのビタミン排泄量からビタミン栄養状態を知る―

柴田 克己（滋賀県立大学名誉教授・甲南女子大学教授）

「ビタミンDと健康―ビタミンD栄養状態を高めるには？―

栗原 晶子（大阪府立大学准教授）

「栄養状態に対応したパーソナルサプリメントの開発について」

雄長 誠（株式会社ファンケル 総合研究所 ヘルスサイエンスセンター）

7) ICoFF2019/ISNFF2019/ICPH2019（後援）

日時：2019年12月1日～5日

会場：神戸国際会議場・神戸国際展示場・神戸ポートピアホテル他

《Vitaminsセッション（12月3日共催）》

「Elucidation of molecular mechanism of vitamin D actions using genetically modified rats in CYP27B1 or vitamin D receptor-」

榊 利之教授

「Vitamin D: an Essential Resource of Health - but not Compatible with Modern Civilization?」

Dr Spitz, Joerg

「Insufficiency of B vitamins with its possible clinical implications」

田中 清 教授

8) NPO 法人京滋骨を守る会（後援）

日時：2019年12月15日（日）13：30～16：20

会場：KBS ホール（京都市 KBS 放送会館）

講演：骨の栄養と骨粗鬆症～ビタミンDを中心に～

田中 清（神戸学院大学教授）

どうしたら骨粗鬆症治療薬は続けられる

～決して怖くない、くすり継続の重要性～

三浦 雅一（北陸大学教授）

(4) ホームページによる広報活動

ホームページをリニューアルし、活用しやすいように改善した。その上で、各種事業の案内・募集等ホームページを積極的に活用し、一般市民、会員に有用な情報を常に提供している。また、一般、マスコミからのビタミンなどに関する質問に対応した。

3. 編集担当理事報告

(1) 学会誌「ビタミン」の発行

2019年度は、93巻4号～94巻3号、計11冊を発行した。

掲載論文は、総説(1) 総合論文(7)、原著(1)、ミニレビュー(23)、研究論文紹介(9)、トピックス(13)、随想(6)、研究室紹介(1)、その他委員会の抄録等を掲載した。

(2) 英文誌「Journal of Nutritional Science and Vitaminology」(JNSV) の発行

公益社団法人日本栄養・食糧学会と共同編集し2019年度発行：Vol.65-2～Vol.66-2(6冊)をオンラインジャーナルにより発行した。

(3) 「ビタミン・バイオフィクター総合事典」の出版を企画し、原稿の校正作業を行っている。

4. 会計担当理事報告

次の件について検討し、理事会に諮った。

(1) 2018（平成30）年度収支決算書類

(2) 2020（令和2）年度収支予算書類

(3) 公益社団法人ビタミン・バイオフィクター協会へ研究助成申請

(4) 2018(平成30)年度剰余金の対応方法

2019（令和 元）年度事業報告 附属明細書

2019（令和 元）年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。